

2026 会 告 No.2

◇通知・案内事項

○2025年度化学工学会資格制度案内 4号5ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2026)	(2027)
◇年会	3/17～19(京都大学)	
◇秋季大会	9/14～16(広島大学)	
◇支部大会		
◇学生発表会	3/7(オンライン)	

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2026年2月 February			
5～6	GMPセミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向：講演&見学会」(大阪府 ほか)		12号6
17	2025年度コンビナート講習会「エネルギー多様化で挑む、コンビナートのカーボンニュートラル」(東京都・ハイブリッド)	2月6日(金)	本号7
19	第15回ホットな話題の講演会「一こんなところにソフトセンサー」(東京都・ハイブリッド)	2月12日(木)	本号8
2026年3月 March			
5	第11回最新技術講座“CO ₂ 分離技術”(3/5, 宮城県, オンライン併催)	2月25日(水)	本号9
7	第28回化学工学会学生発表会(オンライン)	2月13日(金)	1号5
17～19	第91年会(京都府)		本号4
2026年4月 April			
21～23	「化学プラントの装置材料技術」講座(4/21-23)(オンライン)	4月13日(月)	本号7
2026年8月 August			
30	Chemical Energy Car Competition 2026(オンライン)	5月31日(日)	本号6

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
10月16～19日	8th Asian Conference on Innovative Energy and Environmental Chemical Engineering (ASCON-IEEChE2026) (第8回アジア革新的エネルギー・環境化学工学会議) (10/16-10/19) (北海道)	3月31日(火)	本号9

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
重合工学レクチャーシリーズNo.12「高分子の分解/修復と環境問題」(大阪府/オンライン)	2月4日(水)	近畿化学協会重合工学部会	06-6441-5531 (06-6443-6685) polymer@kinka.or.jp https://kinka.or.jp/polymerization/saishin.html
第202回腐食防食シンポジウム(東京都)	2月10日(火)	公益社団法人 腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/202.html

革新的CO ₂ 分離回収・有効利用技術シンポジウム～地球温暖化防止に貢献するCO ₂ 分離回収・利用技術の最新動向～(東京都(オンライン併用))	2月10日(火)	公益財団法人地球環境産業技術研究機構	0774-75-2305 komono@rite.or.jp https://www.rite.or.jp/news/events/2025/12/co2_2026210.html
「プラント圧力設備の溶接補修指針(改訂版)」シンポジウム(東京都, オンライン)	2月17～18日(火～水)	一般社団法人日本溶接協会	03-5823-6324 (03-5823-5244) yusuke_yamaide@jwes.or.jp https://www.jwes.or.jp/committees/chemical-plant/symposiums/
25-2 高分子学会講演会(オンライン)	2月18日(水)	高分子学会 行事委員会	03-5540-3771 (03-5540-3737) soubun@spsj.or.jp https://www.spsj.or.jp/event/event_451.html
第38回 自律分散システム・シンポジウム(静岡県)	2月18～19日(水～木)	計測自動制御学会システム・情報部門	03-3292-0314 (03-3292-3145) das38th@gmail.com https://sites.google.com/sice-das.org/das38th/
【2026年2月19日開催】データ駆動型材料科学研究会 ウェビナー(オンライン)	2月19日(木)	データ駆動型材料科学研究会	080-1961-0634 rabishibata@jp-matlantis.com https://sites.google.com/view/soddds/%E6%B4%BB%E5%8B%95/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88%E3%82%BB%E3%83%9F%E3%83%8A%E3%83%BC%E6%83%85%E5%A0%B1/2026%E5%B9%B4%E6%9C%8819%E6%97%A5%E9%96%8B%E5%82%AC%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E9%A7%86%E5%8B%95%E5%9E%8B%E6%9D%90%E6%96%99%E7%A7%91%E5%AD%A6%E7%A0%94%E7%A9%B6%E4%BC%9A-%E3%82%A6%E3%82%A7%E3%83%93%E3%83%8A%E3%83%BC
生産システム部門研究発表講演会2026(愛知県(ハイブリッド開催))	3月2～3日(月～火)	日本機械学会	03-4335-7615 msd2026@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/msd/103_kouen26-7/
ISPlasma2026 / IC-PLANTS2026 第18回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム/第19回プラズマナノ科学技術国際会議(愛知県)	3月2～6日(月～金)	公益社団法人 応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2026@intergroup.co.jp https://www.isplasma.jp/index.html
第17回日本複合材料会議(JCCM-17)(大阪府)	3月3～5日(火～木)	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jim@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
第40回エレクトロニクス実装学会春季講演大会(東京都)	3月10～12日(火～木)	一般社団法人エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) taikai40@jiep.or.jp https://jiep.or.jp/event/convention/jiep2026s/summary/
第33回ライフサイクル工学に関する国際生産工学アカデミー会議(神奈川県)	3月11～13日(水～金)	国際生産工学アカデミー	03-5312-6540 cirplce2026@keio-kanko.co.jp WEB ページは準備中
第22回キンカ高分子化学研修コース(大阪府)	3月12日(木)	近畿化学協会	06-6441-5531 (06-6443-6685) seminar@kinka.or.jp https://kinka.or.jp/event/2026/kobunshi22.html

第137回触媒討論会特別シンポジウム(東京都)	3月24日(火)	触媒学会	03-3291-8224 (03-3291-8225) secretariat@catsj.jp https://catsj137.infotecs.jp/special/
2026 International Conference on Electronics Packaging and Hybrid Bonding Symposium (ICEP-HBS2026) (広島県)	4月14～18日 (火～土)	エレクトロニクス 実装学会	03-5310-2010 icep2026@jiep.or.jp https://www.jiep.or.jp/icep/
第59回空気調和・冷凍連合講演会(東京都)	4月16～17日 (木～金)	日本機械学会(幹 事学会), 空気調 和・衛生工学会, 日本冷凍空調学会	03-1111-0000 env-rengo59@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/26-6/
第43回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究 大会(東京都)	4月21～22日 (火～水)	公益社団法人日本 空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp
酵素工学会第95回講演会(徳島県)	4月27～28日 (月～火)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme.engjsee@gmail.com https://www.jsee95.enzyme-eng.com
第11回マルチスケール材料力学シンポジウム(石川県)	5月29日(金)	公益社団法人日本 材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
第31回計算工学講演会(愛知県)	6月3～5日 (水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) conf.office@jsces.org https://www.jscs.org/koenkai/31/
第63回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月8～10日 (水～金)	日本アイソトープ 協会	03-5395-8081 happyokai@jrias.or.jp https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jrias2026
SynOre 2026 : The 2nd International Symposium on Iron Ore Agglomerates(富山)	10月7～10日 (水～土)	一般社団法人 日本 鉄鋼協会	076-461-7028 synore2026@pcojapan.jp https://smartconf.jp/content/SynOre-2026/
19th International Symposium on Material-Hydrogen Systems (宮城県)	10月25～30日 (日～金)	材料-水素系国際 シンポジウム国内 運営委員会	022-217-6375 (022-217-5129) yuko.kawata.c4@tohoku.ac.jp https://mh2026.jp/
コロイドおよび界面化学部会50周年記念国際会議 (Okinawa Colloids 2026) (沖縄県)	11月1～6日 (日～金)	日本化学会コロイ ドおよび界面化学 部会	03-3292-6161 admin@okinawacolloids.jp https://okinawacolloids.jp/
【Lead-Zinc 2026】 11th International Symposium on Lead and Zinc Processing(宮城県)	11月1～6日 (日～金)	一般社団法人資 源・素材学会	03-3402-0541 lead-zinc2026@mmij.or.jp https://j-lppf2.jp/lead-zinc2026/
第10回国際窒素会議(京都府)	11月2～6日 (月～金)	国際窒素イニシア ティブ, 第10回国 際窒素会議組織委 員会, 総合地球環 境学研究所, 日本 学術会議(予定)	075-707-2325 (075-707-2508) kentaroh@chikyu.ac.jp https://n2026.org/

2026・2027年度会長候補者選挙結果のお知らせ

会長候補者選定委員会

2025年11月17日～12月5日に行われました、2026・2027年度会長候補者選挙は、候補者1名のため信任投票が行われ、その結果、京都大学の河瀬元明氏が、会長候補者として信任され、会長候補者選定委員会より理事会に報告されました。

化学工学会第91年会 参加募集

会場：京都大学 吉田キャンパス(〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町)
※口頭の一部シンポジウムはオンライン参加も可能とする予定です

会期：2026年3月17日(火)～3月19日(木)

※シンポジウムSP-1は3月16日(月)実施予定です

懇親会会場：みやこめっせ(〒606-8343 京都府京都市左京区岡崎)

懇親会日時：2026年3月18日(水)18:15～19:45(予定)

参加登録期間：第一期 2026年1月5日(月)～2月3日(火)23:59

第二期 2026年2月4日(水)～2月17日(火)23:59

第三期(含む当日) 2026年2月18日(水)～3月19日(木)12:00

大会 Web サイト URL：<https://www4.scej.org/meeting/91a/>

会場アクセスサイト URL：https://www4.scej.org/meeting/91a/pages/jp_onsite.html

※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

化学工学会第91年会は、2026年3月17日(火)～19日(木)の3日間(特別シンポジウムSP-1は会期前日16日(月)実施)、京都大学 吉田キャンパスにて開催されます。懇親会は3月18日(水)夕刻、みやこめっせで開催予定です。

本大会では、参加登録期間が三つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で併催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2026 (ICHES 2026)へもご参加いただけます。

奮ってご参加いただきますよう、よろしくお祈りいたします。

本大会の実施形態について

本大会ではオンサイト開催を基本とし、口頭の一部シンポジウムのみライブ配信併用で実施する予定です。したがって、オンライン参加はライブ配信対象セッションに限られます。ご注意ください。

ライブ配信対象セッションについては、大会Webサイトをご確認ください。

なお、ライブ配信対象講演については自動公衆送信とみなされますので、発表内容に他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

なお、オンライン参加・オンサイトに係らず一切の録音・録画・撮影を禁じます。

懇親会

みやこめっせ(大会会場よりバス約5分、または徒歩約25分)にて、会期二日目3月18日(水)夕刻に立食形式にて開催いたします。奮ってご参加ください。

参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

参加登録期間は以下の三つです。

第一期 1月5日(月)～2月3日(火)23:59まで

第二期 2月4日(水)～2月17日(火)23:59まで

第三期(含む当日) 2月18日(水)～3月19日(木)12:00まで

開会式等

日時 2026年3月17日(火)9:40～12:00(予定)

- ◇開会挨拶
- ◇会長挨拶
- ◇名誉会員推戴式
- ◇学会賞等授賞式
- ◇学会賞受賞記念講演

学会賞等受賞記念講演

大会webサイトをご参照ください。
<https://www4.scej.org/meeting/91a/prog/awards.html>

企画紹介・プログラム一覧

大会webサイトをご参照ください。

- 企画一覧
https://www4.scej.org/meeting/91a/pages/jp_gen-symp.html
- プログラム一覧
<https://www4.scej.org/meeting/91a/prog/index.html>

参加登録に関する注意事項

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期では第三期の参加料金より参加費(大会、懇親会)がそれぞれ2,000円お安くなります(会員外の方の参加費(大会)のみさらに3,000円お安くなります)。

第二期では第三期の参加料金より懇親会料金のみ1,000円お安くなります。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例：第一期で大会参加のみ登録、第二期で懇親会を追加登録、はできません。また、第一期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第二期あるいは第三期に改めてお申込み、お支払いください。)

大会会場での参加登録は実施いたしません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらをご利用ください。

◇懇親会について

本大会も事前申込制といたします。参加登録の際にお申込みください。定員に達した場合は早期に締め切る可能性があります。また、懇親会のみへの参加であっても大会参加登録が必要となります。ご了解ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期一週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内いたしますので、そちらに従ってお手続きをお願いいたします。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認いたします。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申し込みはできません。年会費をお支払いただいてからweb上で確認できるまで二週間程度かかることがありますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部(<https://www.scej.org/>)をお願いいたします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、指定海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は、本会2026年度(2026年3月～2027年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

参加登録のキャンセルおよび参加登録費のご返金は、第一期、第二期いずれでのお申込みかによらず、第二期締切日(2026年2月17日(火)23:59)まで受け付けます。参加登録webサイトにてお手続きください。第二期締切日以降、また第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申し込まれた期の料

金が適用されますので、ご注意ください。

◇講演要旨の事前公開について

講演要旨の事前公開日の前日までに事前参加登録を完了された方（参加費等支払済みの方）に、大会webサイトにて講演要旨を事前公開いたします。公開日に、講演要旨をご覧いただくためのID、PWを事前参加登録された際に登録いただいた電子メールアドレス宛にお送りします。公開日以降に参加登録された方へのお知らせは、参加費のお支払い完了メールにID、PWを記載してお知らせいたします。

本大会の講演要旨公開は、2026年3月3日(火)を予定しています。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子（印刷版）は別売りです。参加登録時に購入いただいた方には、大会当日に受付で冊子をお渡しいたします。現地参加されなかった方には会期後に郵送いたしますのでお申し出ください。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を無料公開予定ですので、購入されない方はそちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

講演要旨集はダウンロード提供となります。参加登録者全員に講演要旨集のダウンロードURLとID、PWをお知らせいたします。

大会に参加登録されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個（税込・送料込）、本会非会員は23,100円/個（税込・送料込）で販売しております。お申込みは随時大会webより承りますが、大会終了後にダウンロードURLとID、PWをお知らせする形となります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には、講演プログラム集冊子（別売）は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会参加費			備考
	第一期 (1/5～2/3)	第二期 (2/4～2/17)	第三期 (2/18～当日)	
化学工学会個人会員の方				
正会員	13,000円	15,000円	15,000円	不課税
シニア会員	6,000円	8,000円	8,000円	
永年会員	5,000円	7,000円	7,000円	
教育会員	5,000円	7,000円	7,000円	
学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
ジュニア会員	5,000円	7,000円	7,000円	
海外正会員	13,000円	15,000円	15,000円	
海外連携会員	13,000円	15,000円	15,000円	
海外学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等				
法人会員（*1）に属する社員	16,000円	18,000円	18,000円	不課税
懇話会会員	16,000円	18,000円	18,000円	
部会個人賛助会員	16,000円	18,000円	18,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	16,000円	18,000円	18,000円	
（*1）維持会員、特別会員、特別地区会員				
他学会の個人会員の方等				
共催学会の個人会員	16,000円	18,000円	18,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員（学生を除く）	13,000円	15,000円	15,000円	
*2に記す海外学会の個人会員（学生）	5,000円	7,000円	7,000円	
（*2）AICHe：米国化学工学会、CIESC：中国化学工学会、CSChE：カナダ化学工学会、DECHEMA：ドイツ化学工学バイオ学会、KICHe：韓国化学工学会、PICHe：フィリピン化学工学会、TwICHe：台湾化学工程學會（略称アルファベット順）				
上記以外の方				
会員外	28,000円	33,000円	33,000円	課税税込

懇親会費

会員資格	大会参加費			備考
	第一期 (1/5～2/3)	第二期 (2/4～2/17)	第三期 (2/18～当日)	
化学工学会個人会員の方				
正会員	8,000円	9,000円	10,000円	不課税
シニア会員	5,000円	6,000円	7,000円	
永年会員	5,000円	6,000円	7,000円	
教育会員	5,000円	6,000円	7,000円	
学生会員	5,000円	6,000円	7,000円	
ジュニア会員	5,000円	6,000円	7,000円	
海外正会員	8,000円	9,000円	10,000円	
海外連携会員	8,000円	9,000円	10,000円	
海外学生会員	5,000円	6,000円	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等				
法人会員（*1）に属する社員	8,000円	9,000円	10,000円	不課税
懇話会会員	8,000円	9,000円	10,000円	
部会個人賛助会員	8,000円	9,000円	10,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	8,000円	9,000円	10,000円	
（*1）維持会員、特別会員、特別地区会員				
他学会の個人会員の方等				
共催学会の個人会員	8,000円	9,000円	10,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員（学生を除く）	8,000円	9,000円	10,000円	
*2に記す海外学会の個人会員（学生）	5,000円	6,000円	7,000円	
（*2）AICHe：米国化学工学会、CIESC：中国化学工学会、CSChE：カナダ化学工学会、DECHEMA：ドイツ化学工学バイオ学会、KICHe：韓国化学工学会、PICHe：フィリピン化学工学会、TwICHe：台湾化学工程學會（略称アルファベット順）				
上記以外の方				
会員外	8,000円	9,000円	10,000円	課税税込

講演プログラム集冊子(印刷版)

会員資格	講演プログラム集冊子			
	第一期 (1/5～2/3)	第二期 (2/4～2/17)	第三期 (2/18～当日)	備考
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	2,200円/部	2,200円/部	2,200円/部	税込
本会非会員				

※第三期は在庫がなくなり次第、販売終了となります。

講演要旨集(ダウンロード)

会員資格	講演要旨集(ダウンロード)		
	大会参加者	大会終了後 別途購入	備考
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	大会参加費に 含む	12,100円/個	税込
本会非会員		23,100円/個	

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
京王観光株式会社 東京第1支店
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿
御苑ビル2階
化学工学会 運営サポートチーム
TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
営業時間 平日10時～17時

◇その他に関するお問合せ
化学工学会 第91年会 実行委員会
E-mail: inquiry-91a@www4.scej.org

Chemical Energy Car Competition 2026 説明会・協賛企業募集

大会内容 化学反応を動力源として走る幅20cm
長さ40cm以内の車を各チームで作製し、大
会当日に発表される指定の距離まで指定の重
さの荷物を積んで走行し、指定された距離と
の正確さを競う。

主催 公益社団法人化学工学会
後援 公益社団法人日本化学会

開催日時 2026年8月30日(日)13:00～17:00
(参加チーム数により8月29日(土)に予選
を行う場合があります。)

開催場所 オンライン開催(各チームにそれぞ
れの場所で走行してもらい、オンラインで
つなぎます)

参加資格 大会は、(a)高校・高専本科に所属す
る生徒のクラス、(b)大学(大学院生含む)・
高専専攻科に所属する学生のクラスとい
う2カテゴリー制で行います。(a)は部活
動、学級などのチーム参加で担当教員の
参加を必須とします。(b)は個人参加、チ
ーム参加どちらも認めます。担当教員につ
いては参加を推奨します。

エントリー受付 2026年5月1日(金)～5月31
日(日)

定員 各カテゴリー最大9チームとし、チーム

の人数に制限は設けません。

参加費 無料(材料・製作費は自己負担)

保険 教育研究災害傷害保険ないしは同様の保
険の加入していることを必須とします。

説明会案内

説明会 2026年3月21日(土)13:00～14:00(オン
ライン)

説明会申込受付期間 2026年3月2日(月)～3月
18日(水)

説明会申込方法 ホームページよりお申込くだ
さい。

当日の説明会の動画を、後日ホームページに
掲載いたします。

協賛企業募集

開催にあたり協賛いただける企業を募集いた
します。ぜひご検討ください。協賛金は一
口30万円(税込)となります。詳細はお問
い合わせください。

協賛の特典 以下の特典をすべて、またはい

れかお選びいただけます。

①協賛企業名を冠した賞を設けます。

②競技会案内ホームページに協賛企業名ま
たはロゴを入れます。

③進行係のオンラインの背景に協賛企業のロ
ゴを入れます。

④参加チームに配付するコース設置用部材に
協賛企業名またはロゴ(のステッカー)を貼付
します。

注)化学工学会のホームページで上記③、④が
写された競技会動画を公開します。なお、過
去のすべての大会の動画を公開しています。

申込期限 2026年3月20日(金)(期限を過ぎる
場合はご相談ください)

問合せ先 公益社団法人化学工学会 人材育成セ
ンター

「Chemical Energy Car Competition 実行委員会」
事務局(担当:北原・吉羽)

〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹
生命文京小日向ビル4F

E-mail: chemEcar@scej.org

ホームページ: [https://www.scej.org/education/
higher/chemecar.html](https://www.scej.org/education/higher/chemecar.html)

人材育成センター

オンライン版 「化学プラントの装置材料技術」 講座(第6回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要 化学プラントの装置材料で発生する損傷・劣化現象やその制御や抑制方法について理解していただき、それらを実際的设计、運転、設備管理の段階で活用できるようになっていただきます。
化学会社で装置材料に関する課題の検討に経験を積んだ技術者が、設計や設備管理における材料技術に関して、事例紹介や演習をまじえつつ解説します。

日時 2026年4月21日(火)、22日(水)、【オプション】:23日(木)PM

対象 以下の何れかに該当される方
・複数年以上、化学プラントの研究、設計、運転、設備管理を担当した経験を有する方
・腐食を中心とした装置材料技術に関する基礎から応用の技術を習得したい方

受講のメリット

- (1) 化学プラントの装置材料における腐食を中心とする損傷、劣化現象に関する基礎的な知識、技術を習得することができます。
- (2) 材料技術を用いて、材料損傷や劣化を防止する基本的な設計、機器の製作、運転、診断、寿命管理等を行うことができるようになります。
- (3) 装置材料に発生する損傷及び材質劣化の豊富な事例について、発生機構、抑制策を、カラー写真とともに体系的に学べます。
- (4) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考に致します。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teams を利用したオンラインで開催致します。
なお、以下 URL に記した注意事項にご同意いた

だけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。https://www0.scej.org/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

第1日 : 4月21日(火)9:30~17:00

1. 設備のリスク評価
2. 装置材料の損傷・劣化と寿命およびその分類
3. 材料の損傷・劣化および破壊現象
4. 金属腐食の基礎

第2日 : 4月22日(水)9:30~16:30

5. 装置材料とその特性
6. 防食設計と設計・製作段階での腐食制御
7. 酸環境での材料選定とアルカリ環境での腐食抑制策
8. 設備診断
9. 寿命予測演習

第3日(オプション) : 4月23日(木)13:30~16:30

講師 材料技術について経験豊富な技術者
中原正大氏 (中原材料技術研究所、元旭化成(株)、博士(工学)、腐食防食専門士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意向で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。

継続教育ポイント オプションを受講されない方は受講証明書で20pt付与、更に修了証で10pt加算します。オプションを受講される方は受講証明書で30pt付与、更に修了証で15pt加算します。

募集定員 20名 多くの企業の方が参加できるように、受付開始後1か月間に限り1社3名以内のお申込みとさせていただきます。但し、1か月経過後は人数制限を解除致します。なお、6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 4月13日(月)

受講料(消費税10%込)

個人正会員 63,800円(本体58,000円)
維持会員/特別会員の社員

70,400円(本体64,000円)
地区会員の社員 77,000円(本体70,000円)
会員外 83,600円(本体76,000円)

※第3日(10章・オプション)の受講を希望する場合は、下記金額が加算されます。過去に9章まで受講された方は10章のみ参加も可能です。

個人正会員【オプション】

14,850円(本体13,500円)

維持会員/特別会員の社員【オプション】

16,500円(本体15,000円)

地区会員の社員【オプション】

18,150円(本体16,500円)

会員外【オプション】

19,800円(本体18,000円)

技士基礎割 下に示す条件を満たす「化学工学技士(基礎)」保有者を対象として、人材育成センター継続教育委員会が主催する全講座で、各参加費から11,000円/日(税込)を割引します。本講座では、オプション無しならば22,000円(税込)、オプション有りならば27,500円(税込)、オプションのみならば5,500円(税込)を減算されます。

<技士基礎割条件>

1. 「化学工学技士(基礎)」に関する手続きを完了していること。
2. 受講日に「化学工学技士(基礎)」の認定期間(8年間)中であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記 URL をブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kkctcs.co.jp/smscj/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4F
E-mail : jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL : 03-6801-5563(代)

地域 C T

関東支部

2025年度コンビナート講習会 「エネルギー多様化で挑む、 コンビナートの カーボンニュートラル」

主催 (公社)化学工学会 関東支部

世界的に地球温暖化による気候変動が深刻化しており、脱炭素社会の実現が強く求められています。本講演会では、石油精製・化学等のプラントにおけるカーボンニュートラル実現に向けた取り組みや技術について、エネルギー多様

化の観点から幅広くご紹介いたします。水素、バイオマス、再生可能エネルギー、化石燃料の有効活用など、多様な選択肢を活用した挑戦の最前線を知る機会として、ご参加を心よりお待ちしております。

日時 2026年2月17日(火)13:10~17:00

会場 東京理科大学 森戸記念館 およびオンライン(ハイブリッド開催)

対面開催地 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4丁目2-2

https://www.rs.tus.ac.jp/jsmpem22/access_morito.pdf

募集人員 会場50名+オンライン100名

※お申し込み時に「会場」または「オンライン」

を選択してください。

※会場参加は先着順とし、上限を超えた場合はオンラインとさせていただきます。

募集締切 2026年2月6日(金)

参加費 正会員9,000円、法人会員社員12,000円、会員外15,000円、学生会員2,000円

懇親会 講習会終了後、東京理科大8号館2階にて、講師も参加の懇親会を開催いたします。参加を希望される方は、講演会お申込時に「懇親会参加」もあわせてご選択ください。参加費は、3,500円とさせていただきます。

申込方法 関東支部ウェブサイト (<http://www.scej-kt.org>) の行事開催のご案内の「コンビナート講習会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きます。必要事項をご記入の上、送信下さい。

支払方法 お申し込み受付後、1～3日程で、ご登録いただきましたメールアドレス宛に請求書をお送りいたします。

※締め切り後のキャンセルの場合には、参加費をご請求させていただきます。

問い合わせ 公益社団法人 化学工学会関東支部
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4階

TEL : 03-6801-5563, E-mail : info@scej-kt.org

プログラム

<開会挨拶>

13:10～13:15 公益社団法人 化学工学会 関東支部 担当幹事 片山学

<講演>

13:15～13:50

「素材産業の国際競争力強化に向けた産業政策」

経済産業省 土屋 博史氏

今後、素材産業がカーボンニュートラルを目指しつつ、多様な変革の要請に的確に対応し、今後も国際競争力を維持・強化していくためにどのような取組が必要か、今後の素材産業の方向性について、GXの政策動向とともにご紹介。

13:50～14:25

「コンビナートにおける産業間連携によるカーボンリサイクルの検討」

コンビナート高度統合運営技術研究組合

見目 勇生氏

日本のカーボンニュートラル実現へ、川崎・周南両地区でCO₂回収・再利用(CR)事業の実現可能性を調査。川崎はメタン、周南はメタノールを基幹物質とし、地域連携による低コスト・高効率な脱炭素化モデルを検討した。

14:25～15:00

「都市ガス業界のカーボンニュートラルに対する取り組み」

一般社団法人日本ガス協会 岡田 修一氏

都市ガス業界では、2030年度に合成メタン(e-メタン)やバイオガスの1%供給、2050年にカーボンニュートラル化を目指した取り組みを進めている。本講演では、取り組みの最新動向と事例について紹介する。

15:00～15:10 【休憩】

15:10～15:45

「アンモニアサプライチェーンに係る取り組み」

株式会社JERA 長尾 隆司氏

国内最大規模の発電事業者として「JERAゼロエミッション2050」を掲げ、再エネとゼロエミ火力の相互補完等により取り組みを進めている。水素・アンモニアサプライチェーン構築に関する技術開発として、アンモニアクラッキングを中心に紹介する。

15:45～16:20

「IHIグループにおけるアンモニアバリューチェーン構築の取り組み」

株式会社IHI 阿波野 俊彦氏

脱炭素燃料として、そして、海外の豊富な再エネやCCS等の「環境価値」の輸送手段として、世界的に注目され、いよいよ社会実装段階に入ったアンモニア。その要となるバリューチェーンをつなぐ取り組みを紹介する。ついて紹介する。

16:20～16:55

「石炭ボイラでのバイオマス利活用によるカーボンニュートラルへの貢献 ～出光のブラックペレット事業～」

出光興産株式会社 中塚 清次氏
石炭代替バイオマス燃料であるブラックペレットについて、年産12万トンの製造能力を持つ、世界最大規模の生産工場を建設し、商業運転を開始した。石炭ユーザーの脱炭素を実現するための現実解の一つとして、ブラックペレットの紹介とサプライチェーンへの取組を紹介する。

<閉会挨拶>

16:55～17:00 公益社団法人 化学工学会 関東支部 第二企画 委員長 金子 安延

<懇親会> (会場参加者の希望者/別会場へ移動)

17:20～19:20 東京理科大学 8号館 2階

第15回 ホットな話題の講演会 —こんなところに ソフトセンサー—

主催 (公社)化学工学会関東支部

協賛 化学工学会 反応工学会部会、エネルギー部会、分離プロセス部会、環境部会、SIS部会、触媒学会、開発型企業の会、分離技術会、電気化学学会、石油学会、日本エネルギー学会、日本化学会、水素エネルギー協会、日本機械学会、日本燃焼学会

ソフトセンサー(仮想計測とも呼ばれる)とは、物理的なハードウェアを持たず、ソフトウェアによって実現されるセンサーのことです。直接測定が困難な値を、リアルタイムで測定可能な他のプロセス変数(温度、圧力、流量など)からコンピュータの計算やAI(機械学習)を用いて推定する技術を指します。

石油化学系のプロセスでの適用のみならず、最近では医療、医薬、エネルギーの分野で適用されている事例を目にします。本講演では、ソフトセンサーの基礎から応用までの講義及び最近のソフトセンサー実装事例の紹介を致します。多数の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時 2026年2月19日(木) 13:00～17:25(17:30～交流会)

会場 講演会

東京理科大学 森戸記念館 第1フォーラム(及びオンラインによるハイブリッド開催)

交流会

東京理科大学 8号館2階

(住所:東京都新宿区神楽坂4-2-2)

TEL : 03-5228-8110)

開催形式 会場・オンライン併用ハイブリッド形式

定員 オンライン50名

参加費 正会員11,000円、法人会員(協賛団体会員含む)13,000円、学生会員4,000円、会員外17,000円、サロメンバー7,000円

※尚、それぞれの参加費にはテキスト代、懇親会費、消費税が含まれます。

※会場ならびにオンライン参加は、同額です(消費税を含む)。

申込締切 2026年2月12日(木)

申込方法 関東支部HP (<https://www.scej-kt.org/>)の「行事」より「第15回ホットな話題の講演会」

をクリック後、ページ下部の「参加申込みフォーム」をクリック。フォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

支払方法 お申し込み確認後、1週間程度で、ご登録いただいたメールアドレス宛に参加費の請求書をお送りいたします

問い合わせ (公社)化学工学会関東支部事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4階

TEL : 03-6801-5563 / E-mail : info@scej-kt.org

【プログラム】

(13:00～13:05) 開会の挨拶

関東支部 第一企画副委員長

東京電機大学 小林 大祐氏氏

(13:05～13:55) 50分

「AIと機械学習に基づく数理モデルおよびモデルの逆解析による分子・材料・プロセス設計の最前線」
明治大学 金子 弘昌氏
データ化学工学研究室 <https://datachemeng.com/>では、様々な種類のデータを用いて数理モデル化し、モデルに基づいて未知の分子・材料・プロセスを設計している。本講演では化学工学におけるAI・機械学習としてこれらの内容を紹介します。

○事例紹介

(13:55～14:45) 50分

「プロセス異常検知技術の医療分野への展開」

北海道大学 藤原 幸一氏

プロセス制御分野では以前から、運転データから異常発生をリアルタイム検知するシステムが利用されてきた。現在、データに基づく異常検知はプロセス制御分野に留まらず、金融やサイバーセキュリティなどでも広く適用されている。本講演では異常検知についての基本的な考え方や、講演者が取り組んでいる医療分野への展開について紹介する。

(14:45～15:00) 休憩

(15:00～15:40) 40分

「ソフトセンサーの利活用による製造現場改善事例の紹介」

富士電機株式会社 田中 雅紀氏

UBE株式会社 土井 佑介氏

初めに、データ収集からモデル実装までを自動化したソフトセンサー設計ツールのご紹介をします。次にツールを利活用し、短い期間でソフトセンサーを構築・実装し大きな成果に結びつけたUBE株式会社の事例について紹介します。

(15:40～16:30) 50分

「化学プラントにおけるソフトセンサーの活用事例」

ADAPTEX株式会社 小比 賢理延氏

近年、活用範囲が広がりつつあるソフトセンサーの活用について、化学プラントでの事例を中心にその設計と効果について説明する。

(16:30～17:20) 50分

「仮想計測技術ならびに転移学習を活用した医薬品の製造プロセス開発」

第一三共株式会社 柳 啓太氏

医薬品の製造プロセスを対象に、仮想計測技術(機械学習モデル、構造的モデル、ハイブリッドモデル)による品質管理や転移学習によるスケールアップの円滑化について、第一三共(株)における事例を交えて紹介する。

(17:20～17:25) 閉会の挨拶

(17:30～) 交流会

部 会 C T

化学工学会分離プロセス部会
第11回最新技術講座
“CO₂分離技術”

主催 公益社団法人化学工学会分離プロセス部会
協賛 国立研究開発法人産業技術総合研究所

期日 2026年3月5日(木)13:30~17:00, 交流会
17:15~18:30

会場 国立研究開発法人産業技術総合研究所 東
北センター OSL棟セミナー室1, 2
(〒983-8551 宮城県仙台市宮城野区苦竹4-
2-1 <https://www.aist.go.jp/tohoku/ja/access/>)
オンライン併催(Zoom)

趣旨 2050年カーボンニュートラルの実現に向
けて、CCUSの実装の取り組みが進められて
います。本講演会では、CCUSにおいて実装
が期待されるCO₂分離プロセスについて、材
料開発やプロセス評価に関する産学官の最新
の取り組みをご紹介頂きます。見学会では、
産業技術総合研究所東北センターに設置され
た、CO₂分離素材評価センターの評価装置の
見学を行います。年度末のお忙しい時期と存
じますが、オンライン併催にて開催いたします
ので、是非多くの方のご参加をお待ちして
おります。

プログラム

13:00~13:30 受付
13:30~13:35 開会挨拶 主催者
13:35~13:45 「産業技術総合研究所の紹介」
産業技術総合研究所 山口有朋氏
13:45~14:15 「CO₂分離回収技術の概要と動向」
金沢大学 山田 秀尚氏
本講演では、カーボンニュートラル社会にお
いて不可欠と考えられる「固定排出源」及び「大
気」からのCO₂分離回収について、最も成熟度
の高いアミンベースの手法を中心に、その意
義、技術概要、動向、課題、展望を述べる。

14:15~14:45 「促進輸送膜による脱炭酸プロセ
スに関する考察」 神戸大学 神尾 英治氏
CO₂キャリアを含有する促進輸送膜は、化学
反応を利用した能動的CO₂透過が可能な機能
性CO₂分離膜であり、至適条件下で極めて優
れたCO₂透過速度とCO₂透過選択性を実現す
る。しかしながら、その性能は使用条件に強
く影響され、適用対象や使用条件によっては、
その極めて高い性能を発揮できない場合もあ
る。本講演では、繊細な促進輸送膜の特性に
ついて概説し、脱炭酸プロセスへの適用性を
考察する。

14:45~15:00 休憩
15:00~15:30 「オールカーボンガス分離膜の開
発と社会実装に向けた取り組み」
東レ株式会社 柿山 創氏
東レ株式会社が開発したオールカーボンガス
分離膜は、多孔質炭素支持体に緻密炭素層を
複合した革新材料であり、オールカーボン由
来の耐熱・耐薬品性を特徴とする。本講演で
は膜の基礎物性と社会実装に向けた進捗を紹
介する。

15:30~16:00 「JEC³MにおけるCO₂分離材の評
準評価と標準分離膜の評価」

産業技術総合研究所 池田 歩氏・
ランディン ショーン氏

産総研が設立したCO₂分離素材評価センター
(JEC³M)では、GI基金で確立した標準評価法
を利用し、CO₂分離材の評価を実施している。
具体的には、吸収液・吸着剤・分離膜の素材
特性評価、低濃度排ガスを想定した分離性能
評価と耐久性評価に取り組んでいる。この
JEC³Mでの取り組みについて、標準材の評
価データも含めて紹介をする。

16:00~16:05 開会挨拶 主催者
16:15~17:00 見学会(現地参加者のみ)
CO₂分離素材評価センター <https://www.aist-solutions.co.jp/news/page000358.html>
17:15~18:30 技術交流会

参加費

講演会・見学会
化学工学会会員・法人会員・協賛会員

5,000円
非会員 10,000円
学生 無料
※オンラインの参加費も同額です。

技術交流会 3,000円

参加登録

・参加登録フォームからご登録ください。
<https://forms.office.com/r/TQqessi0i>
・参加登録期限：2026年2月25日(水)
・参加費は、参加登録期限までに銀行振込に
てお支払いください。振込手数料はご負担
ください。
振込先：みずほ銀行 豊洲支店 普通 3035574
化学工学会分離プロセス部会一般
会計
・参加費支払期限までにキャンセルのご連絡
がない場合、参加費の返金は致しません。
・ご登録から1週間以内または2月27日のい
ずれか早い日に、確認メールを送信します。
確認メールが届かない場合は、下記へご連
絡ください。
・参加登録フォームからのご登録が難しい場
合は、下記へご連絡ください。



お問い合わせ先

公益社団法人化学工学会分離プロセス部会 事
務局
E-mail: separation.processes.scej@gmail.com

第8回 アジア革新的エネルギー・
環境化学工学会議 開催案内
(8th Asian Conference on
Innovative Energy and
Environmental Chemical
Engineering)
(ASCON-IEEChE2026)

主催 (公社)化学工学会, ASCON-IEEChE2026
実行委員会

共催 (一社)国際P2M学会, 化学工学会北海道
支部, (一社)水素エネルギー協会(予定)
後援 経済産業省北海道経済産業局(予定)

日時 2026年10月16日(金)~10月19日(月)
会場 北海道大学 札幌キャンパス 学術交流
会館(北海道札幌市北区北8西5)
学会Webページ(最新情報はこちらをご覧ください)
<https://ascon2026.org/>

発表申込 <https://ascon2026.org/call-for-paper/>
スケジュール

アブストラクト提出締切 2026/3/31
講演予稿提出締切 2026/7/31

会議概要 ASCON-IEEChEは、1988年に東京で
開催された流動層および三相反応器に関する
アジア会議(ASCON)として始まり、以降、韓
国、台湾、日本を開催国として、2年おきに開
催されてきました。2008年には、この国際会
議の枠を拡張し、環境およびエネルギー問題
に関連する研究分野をカバーするために、
ASCON-IEEChEと改称して第1回目のASCON-
IEEChEが札幌にて開催されました。
日本の中でも北海道は、再生可能エネルギー
や天然資源のポテンシャルの高さから、ネッ
ト・ゼロカーボン社会実現のフロンティアと
して、再生可能エネルギー利活用、二酸化炭
素回収・利用・貯留(CCUS)、水素製造・利用
といった分野の実証研究が進められていま
す。こうした状況を踏まえ、アジア地域およ
び世界の研究開発専門家、技術者、研究者、
学生が、エネルギーと環境問題、特にプロジェ
クト・プログラムマネジメント、再生可能エ
ネルギー、水素利用技術といった研究分野に
ついて、意見交換や専門知識交換を行う貴重
なプラットフォームとなることを目指し、第8
回 ASCON-IEEChEを札幌にて開催します。こ
の特別な機会を、カーボンニュートラル社会
の推進に向けた参加者間の連携促進にご活用
いただければ幸いです。また、学生ポスター
セッションや若手研究者交流会を設け、次世
代の化学工学分野をリードする専門人材の育
成を重視しています。これらの取り組みを通
じて、東アジアにおけるエネルギー・環境技
術の国際的な交流基盤を強化し、地域産業の
高度化、国際感覚を備えた人材育成、環境調
和型開発の推進に貢献する国際会議として実
施します。

講演トピックス

- (A) Fluid Dynamics in Fluidized Beds and Multi-phase Reactors
(B) Energy Conversion
(C) Combustion, Gasification and Pyrolysis in Fluidized Beds
(D) Environmental Protection
(E) Catalytic Conversion and Materials
(F) Biomass and Biofuels
(G) Hydrogen
(H) Membrane Separation
(I) Carbon Capture & Storage (CCS)
(J) Value Creation Management through P2M-Based Social Implementation
(K) Engineering Education